

学校だより

神石高原町立三和小学校

# かがやく三和っ子

令和8年2月10日

〒720-1522 広島県神石郡神石高原町小畠 1370番地  
TEL 0847-85-2816 FAX 0847-85-2601  
URL <http://www.jinsekigun.jp/school/sanwasho/>

2学期末に行った学校評価アンケートの結果をお伝えします。今後も保護者の皆さんから信頼をいただけるよう、教職員一丸となって教育活動を進めていきます。

## 保護者アンケートの結果

※肯定的評価：「そう思う」「ほぼそう思う」の割合

No	評価内容	肯定的評価
1	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	98%
2	子どもは、進んで挨拶をしている。	86%
3	子どもは、人の話を聞き、自分の考えを表現している。	86%
4	子どもは、進んで実行したり、挑戦したりしている。	87%
5	子どもは、相手の気持ちを考えた言動ができている。	83%
6	家庭では、子どもは手伝いや仕事をしている。	70%
7	学校は、学校だより・学級だよりなど、各種のたよりなどで、学校の教育方針や子どもの様子を分かりやすく伝えている。	96%
8	先生は、分かりやすく子どもたちに教えている。	98%
9	子どものことについて、先生方に気軽に相談できる。	94%
10	保健室（養護教諭）は、子どもの心や体の健康・生活習慣などについて気軽に相談できる場である。	93%
11	お子さんを三和小学校に通わせてよかったと思う。	98%

### 【要望やご意見等の自由記述欄の声より】

- いつも丁寧に対応して下さり、安心して子どもを通わせることができます。ありがとうございます。今後ともよろしく願います。
- いつも丁寧にご対応いただき、ありがとうございます。おかげさまで、安心して楽しい学校生活を送ることができています。小学校生活も残りわずかとなりましたが、今後ともどうぞよろしく願います。

## 校長室より

### 「2月になりました」



「コン、コン、コン」と校長室の引き戸をノックするかわいい音が聞こえてきます。「先生ではなさそうだが、何だろう」と思いつつ、「はい、どうぞ。」と出入り口に伝えると、おそるおそるという感じで扉が右に移動し、できた出入り口の隙間から、男の子の顔が現れました。「校長先生に話がありました。」とこれまた、おそるおそる話します。「勇気を出して、校長室まで来たんだな」と感じつつ「どんな話ですか」と促すと「校長先生、雪かきありがとうございますございました。」とぺこりと頭を下げたのです。

その日の朝は、思いがけず雪が降り、いつもより30分ほど早く、道路沿いの校門まで行き、雪かきをしていました。「もしかしたら、私が雪かきをしているのを見たのかもしれない」と思いつつ、「どういたしまして。お礼を言いに来てくれてありがとう。うれしいよ。」とお礼をいうと、満足をした顔で「失礼します。」と言い残し、校長室を出ていきました。

次の休憩時間です。また、校長室の引き戸を「コンコンコン」とノックするかわいい音が聞こえます。「はい、どうぞ」と声をかけると「校長先生に言いたいことがあります。」とドキリとすることを言いつつ校長室に入ってきました。「言いたいことは何ですか？」と尋ねると「校長先生、雪かきありがとうございます。」と言い、満足そうに出ていこうとするので、「待って、待って」と慌てて呼び止めました。「お礼を言ってくれてありがとう。ところで、なんで校長先生が雪かきをしたのを知っているの。」と訊くと、「先生が朝の会で教えてくれました。」と答えました。

次の休憩には、同じクラスの女の子たちも廊下で出会ったときに、「校長先生、雪かきありがとうございます。」といい、満足そうな顔で担任の先生のところにいきました。追いかけるように「お礼を言ってくれてありがとう。」と声をかけましたが、担任の先生のところにお礼を言ったことの報告に行くことに夢中だったようで「声が届いたかな」と心配になりましたが、女の子の満足そうな顔に私も安心してその場を離れました。歩きながら「ありがとうの連鎖」だなとうれしくなりました。担任の先生が「校長先生ありがとう」と思い、担任の子どもに伝える。子供たちが「校長先生ありがとう」と思い、伝えに来る。私は、子供たちにお礼を言い、担任の先生にお礼を言い、「ありがとうの連鎖」が輪になって、誰もがうれしい気持ちになりました。

きっと、子供たちは、お礼を言ったことにお礼を言われたり、お礼を言うことができたりしたこと自体がうれしかったのだと思います。どの子どもともうれしい顔をしていました。

学校では、「ありがとうございます」「ごめんなさい」をきちんと言えるように心がけています。これは、地域、ご家庭で小さなころから「ありがとうございます」「ごめんなさい」をいうことができるよう指導されていることに連続、連携であると考えているからです。子供たちがどこであっても活躍し、生きていく、自分の思いをかなえるためには、周りの人への心遣いである言葉はかかせないと思います。そして、感謝の気持ちを文字や音声として伝えることもとても大切だと思っています。ご家庭、地域では、事あるごとに「ありがとうございます」「ごめんなさい」をいう事を指導されていると思います。そうした絶え間ない指導や大人が実践するのを見る中で、子供たちは、相手への気遣いを覚え、身につけて、自然にできるようになるのだと思います。学校も同じく、子供たちが社会に出て周りの人たちに愛されてもらうことができるよう、「ありがとうございます」「ごめんなさい」をはじめ、「あいさつ」などもできるよう取り組んでいます。

学校は、ご家庭、地域の教育活動と連続、連携した教育活動を基にして、子供たちが社会で生きていくための力を付けていきます。教職員一同、6年間を見通して、心豊かな子供たちを育てていきたいと思っています。今後とも、学校の取組へのご理解、ご協力、応援をよろしくお願いいたします。



神石高原町立三和小学校  
校長 前田 静樹



先月の「ミニ発表会」のようすは、次ページをご覧ください。

令和7年度 神石高原町立三和小学校  
三二発表会

開催日：令和8年1月26日(月)



見 童 かい の テー マ  
らっ かん しょう き  
**楽感笑輝**  
じぶん み ひと えがお  
~自分も見ている人も笑顔にしようぜ~

らっ**楽** は たのませる  
かん**感** は かんどうさせる  
しょう**笑** は えがおにする  
き**輝** は かがやく

1年生 劇「わらしべちょうじゃ」



2年生 劇「スイミー」



3年生 劇「三年とうげ」



4年生 合唱・合奏「たngo!タンゴ!TANGO!」



5年生 劇「神石4兄弟物語～神石の特産紹介します～」



6年生 劇「もしも徳川家康が総理大臣になったら～歴史人物討論会～」

